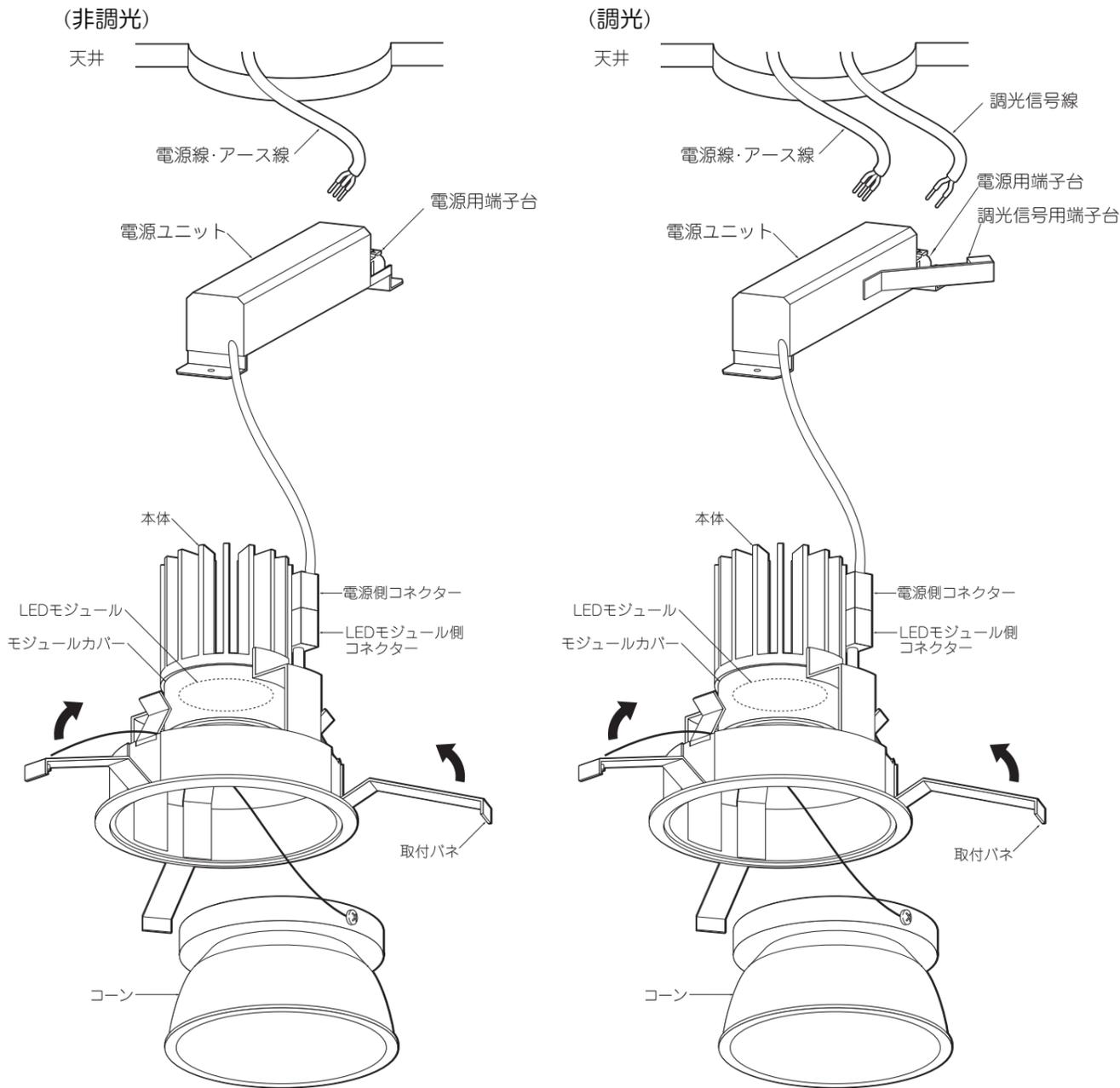


【型番】 ERD3243S/W, ERD3244S/W, ERD3267S/W, ERD3268S/W, ERD3319S/W, ERD3320S/W  
 ERD3402W, ERD3403W, ERD3243S/W-P, ERD3244S/W-P, ERD3267S/W-P, ERD3268S/W-P  
 ERD3319S/W-P, ERD3320S/W-P, ERD3402W-P, ERD3403W-P

## ◆各部の名称

この図は一部省略抽象した共通部品図です



⚠ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

■清掃方法について ⚠ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

- 中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

●電源工が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店が、最寄営業所へお問い合わせください。

## ◆仕様

区分	型番	ランプ色	配光	近接照射限度	定格電圧	周波数	入力電圧	入力電流	消費電力		
非調光器具	900タイプ	ERD3243S/W	電球色タイプ(2700K)	中角	AC100V-242V	50Hz/60Hz	100V	146mA	14.5W		
		ERD3244S/W		広角							
		ERD3319S/W		超広角							
		ERD3267S/W	中角	200V						80mA	14.3W
		ERD3268S/W	広角								
	ERD3320S/W	超広角	242V	78mA			14.4W				
	600タイプ	ERD3402W						電球色タイプ(2700K)	超広角	0.1m	
									100V		106mA
			200V	65mA			10.6W				
	400タイプ	ERD3403W	電球色タイプ(2700K)	超広角			0.2m	242V	61mA	10.7W	
100V					105mA	6.4W					
調光器具	900タイプ	ERD3243S/W-P	電球色タイプ(2700K)	中角	AC100V-242V	50Hz/60Hz	100V	153mA	15.1W		
				ERD3244S/W-P						広角	
				ERD3319S/W-P						超広角	
		ERD3267S/W-P	中角	200V						88mA	15.0W
		ERD3268S/W-P	広角								
	ERD3320S/W-P	超広角	242V	84mA			15.0W				
	600タイプ	ERD3402W-P						電球色タイプ(2700K)	超広角	0.1m	
									100V		112mA
			200V	72mA			11.1W				
	400タイプ	ERD3403W-P	電球色タイプ(2700K)	超広角			0.2m	242V	65mA	11.2W	
								100V	78mA	7.7W	
								200V	50mA	7.8W	
								242V	44mA	7.9W	

## ◆適合LEDモジュール

区分	型番	ランプ色	配光
900タイプ	CMS927M-80NHP1	電球色タイプ(2700K)	中角
	CMS927W-80NHP1		広角
	CMS927F-80NHP1		超広角
	CMS940M-80NHP1	中角	
	CMS940W-80NHP1	広角	
	CMS940F-80NHP1	超広角	
600タイプ	CMS627F-80NHP1	電球色タイプ(2700K)	超広角
400タイプ	CMS427F-80NHP1	電球色タイプ(2700K)	超広角

⚠ LEDモジュール交換の時は、必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

## ◆LED光源について

LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバラツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。

## ◆信号制御方式の調光器具について

調光した状態で、電源スイッチを切り切りした場合、一旦明るく光った後に調光状態や消灯状態に移行する場合があります。

## ◆適合信号制御器(別売)の接続台数

型番	定格電圧	区分	接続台数	調光範囲
X-239W	AC100V	400タイプ	46台(50台)	10%~100% 連続調光
		600タイプ	45台(50台)	
		900タイプ	47台(50台)	
X-240W	AC200V	400タイプ	22台(50台)	
		600タイプ	23台(50台)	
		900タイプ	25台(50台)	

※( )内は、信号供給のみの接続台数です。

## ◆取付方法

- 安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

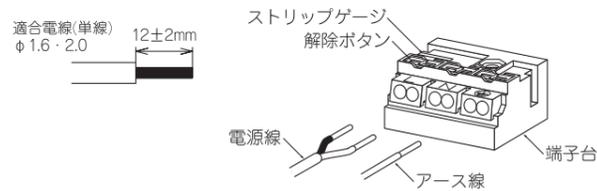
⚠ 感電の原因となります。

- この器具は天井取付専用器具です。器具重量に十分耐えるよう、天井取付部の強度を確保し、指定の埋込穴をあけてください。(取付有効板厚3mm~25mm)  
電源ユニットを埋込穴から挿入する場合は、900タイプ、600タイプの場合は天井内懐高さが140mm、400タイプの場合は天井内懐高さが90mm必要です。調光用900タイプ、600タイプ、400タイプの場合は天井内懐高さが100mm必要です。

埋込穴寸法
φ75±1

⚠ 取付部の強度が不十分な場合、上記埋込穴寸法より大きい場合は、器具落下・光モレの原因となります。

- 電源線を端子台に接続してください。
  - 電線はストリップゲージ長12±2mmにむいてください。
  - 電線を奥までまっすぐ確実に差し込んでください。
  - 送り容量15A以下。
  - D種接地工事を行ってください。必ず端子台のアースを使用してください。

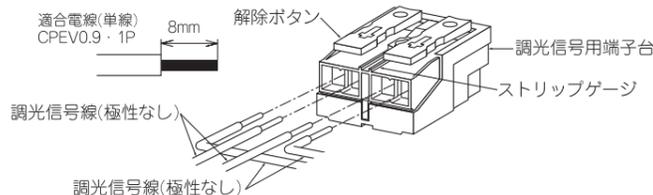


⚠ 電源線は解除ボタンを押さずに引き抜かないでください。接点金具が変形し、焼損、漏電、感電、不点灯の原因となります。

⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

⚠ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

- 信号制御器(別売)で調光する場合は、調光信号線(推奨信号線 CPEV0.9・1P)を調光信号用端子台に接続してください。
  - 調光信号線はストリップゲージ長8mmにむいてください。
  - 調光信号線を奥までまっすぐ確実に差し込んでください。
  - 使用する信号制御器の最大接続台数以下で接続してください。



- 信号制御器は当社指定の商品をご使用ください。
- 信号制御器に付属の取扱説明書をご参照ください。
- 調光信号用端子台を押さえながら電源ユニットを埋込穴より挿入し、天井内で横転などしないように設置してください。

⚠ 電源ユニットが器具に触れないように設置してください。火災の原因となります。

⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

- 電源ユニットを埋込穴より挿入し、天井内で横転などしないように設置してください。

⚠ 電源ユニットが器具に触れないように設置してください。火災の原因となります。

- 本体を埋込穴に押し込んでください。
  - 取付パネ(3ヶ所)を矢印方向へ縮め、本体を埋込穴へ押し込んでください。(表面図参照)

⚠ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

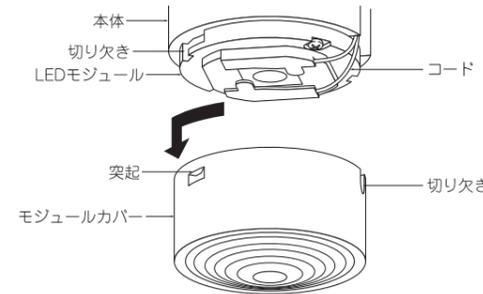
## ◆LEDモジュールの交換方法

- 安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

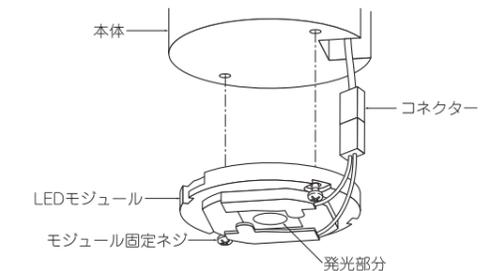
⚠ 感電の原因となります。

⚠ 点灯中や消灯直後(消灯後20分まで)は高温になりますので、LEDモジュール交換はしないでください。やけどの原因となります。

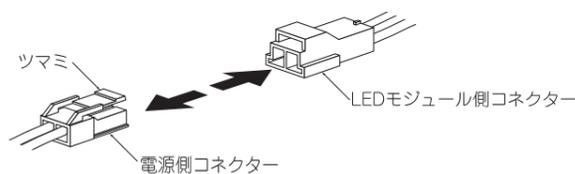
- コーンを本体から引き抜いてください。
- モジュールカバーを左に回してLEDモジュールから取りはずしてください。



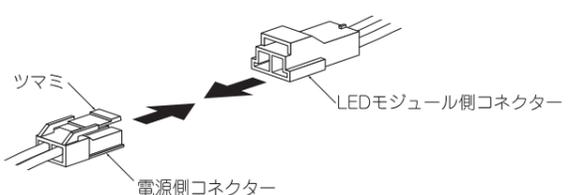
- モジュール固定ネジ(2個)をゆるめてLEDモジュールを本体から取りはずしてください。



- ツマミを押しながら電源側コネクターをLEDモジュール側コネクターから引き抜いてください。



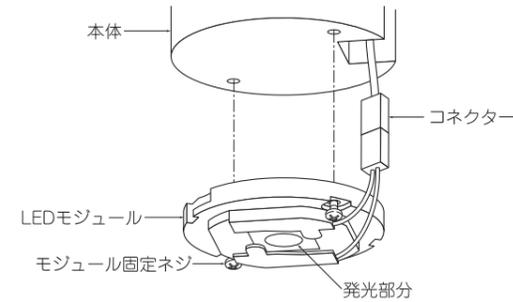
- 新しいLEDモジュールのコネクターに電源側コネクターを確実に差し込み接続してください。



⚠ 接続不完全な場合、火災・漏電の原因となります。

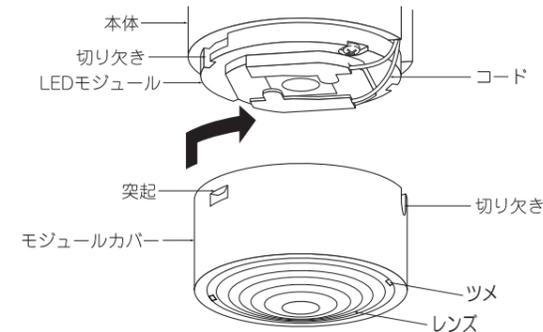
- コネクターを本体内部に収納し、LEDモジュールを本体に合わせて、モジュール固定ネジ(2個)でコードを挟まないよう十分注意して確実に取付けてください。

※取付けの際、LEDモジュールの発光部分には触れないように注意してください。



⚠ 取付けが不十分な場合、火災・落下・変色・変形及びLED短寿命や不点灯等の原因となります。

- モジュールカバーの切り欠きをLEDモジュールのコード側に合わせ、モジュールカバー内の突起をLEDモジュールの切り欠きに合わせて右に回して固定してください。



※交換後はモジュールカバーのツメにレンズがしっかりと取付いている事を確認してください

⚠ 取付けが不十分な場合、部品落下の原因となります。

- コーンを本体に確実に取付けてください。

⚠ 取付けに不備があると落下の原因となります。